

令和5年度
東京都北区立赤羽台保育園
事業報告書

東京都北区立赤羽台保育園
指定管理者
社会福祉法人 茂原高師保育園

1. 管理業務の実施状況

① 保育時間

保育標準時間 7:15~18:15 保育短時間 8:30~16:30

② 実施事業

延長保育 18:16 から 20:15 の 2 時間 1 時間補食 2 時間夕食提供

休日保育 年始 1 月 1 日~1 月 3 日を除く日曜祝日

子育て支援 子育て・健康・発育相談 子育て情報の発信 親子わらべうたの会

③ 児童処遇

0 歳児…ひよこ組 1 歳児…うさぎ組・いちご組 2 歳児…ぱんだ組・たんぽぽ組
 幼児…うみ・ゆき・はな・そら・つき・にじ

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定員	12	38	38	38	38	38	202
5 年 4 月	12	42	42	42	42	42	222
6 年 3 月	12	41	42	41	42	41	219

④ 職員体制 (3/31 時点) ※ () はパート職員

園長	1 名	奥戸
主任保育士	1 名	千脇
保育士	49 名 (12)	高田、金子、西野、清水、庄司、前島、立花、渡辺典、高橋美、下地、山内、山室、名塚、勝連、富田、佐々木聖、高橋梨、渡邊美、小野遥、太田、平田、中山直、富塚、齋藤優、宮内、森田政、青木、五十嵐、鳥居、中山愛、茂木、緑川、森田朋、紺野、白石、須江、安永、(大橋)、(小熊)、(小林)、(丸山)、(小池)、(荻山)、(中内)、(高橋順)、(長澤)、(佐々木亜)、(林)、(齋藤正)
保育補助	6 名 (6)	(安東)、(石垣)、(長谷川)、(町田)、(渡辺)、(滝元)
栄養士	3 名	酒井、元木、原山
調理師	3 名	小山、門脇、前田
調理補助	2 名 (2)	(長谷川)、(今野)
看護師	2 名	岩田、大橋
事務員	2 名	百地、松瀬

2. 年間行事実施状況

4 月	進級式 入園式 全園児健診
5 月	こどもの日の集い 懇談会 (0, 1 歳児) 親子ピクニック (幼児・2 歳児) 引き渡し訓練
6 月	保育参観(乳児) 起震車訓練 (4・5 歳児) プール開き
7 月	七夕 引き渡し訓練
8 月	防犯教室 (4・5 歳児)
9 月	給食試食会 運動会 (幼児) 引き渡し訓練
10 月	秋のバス遠足 (4・5 歳児) 全園児健診 歯科衛生指導 (5 歳児)
11 月	保育参観(乳児) 歯科検診 (全園児) 焼き芋パーティー (4・5 歳児)

	尿検査（幼児）引き渡し訓練
12月	おおきくなったねの会（3・4歳児）スクールコンサート お楽しみ会
1月	初釜（5歳児）おおきくなったねの会（5歳児）懇談会（乳児）引き渡し訓練
2月	節分 懇談会（乳児） お茶会（4歳児） 魚を知ろうの会 鱈の解体
3月	ひなまつり会 活け花（5歳児）お別れカレーパーティー（5歳児）卒園式 引き渡し訓練

3. 職員研修実績【外部研修】東社協 北区保育課 全国保育協議会 他

月	件数	参加者
4月	1件	百地
5月	9件	奥戸・庄司・佐々木聖・小野遥・太田・舘野・齋藤優・鳥居・岩田
6月	14件	清水・名塚・山内・平田・佐々木聖・富田・太田・小野遥・齋藤優・舘野・鳥居・茂木・中山愛・森田朋
7月	9件	高田・高橋美・小野遥・富田・佐々木聖・太田・舘野・齋藤優・岩田
8月	9件	百地・高田・清水・渡辺典・中山直・勝連・富塚・紺野・緑川
9月	5件	清水・渡辺典・小野遥・緑川・門脇
10月	9件	清水・前島・庄司・高橋梨・小山・門脇・原山・前田・前島
11月	9件	奥戸・百地・千脇・清水・渡辺典・下地・富田・大橋・元木
12月	6件	奥戸・清水・庄司・山内・小山・酒井
1月	8件	高橋美・勝連・茂木・大橋・青木・原山・門脇・前島
2月	4件	千脇・高橋美・名塚・元木
3月	3件	奥戸・渡辺典・原山
年1回		法人 新採用職員研修・パワーハラスメント研修

【園内会議・研修実績】

会議名	対象者	実施頻度
職員会議・給食会議	正職員	毎月1回
保育内容検討会議	各クラス担任	毎月1回
乳児会	各クラス担任	毎月1回
リーダー会	各クラスリーダー	適宜
巡回指導による要支援児会議	各クラス担任	年10回
衛生委員会	衛生委員	毎月1回
園内研修 1年目職員研修	1年目職員	年2回
2・3・4年目職員研修	2・3・4年目職員	年2回
5・6・7年目職員研修	5・6・7年目職員	年2回
キャリア職員研修	8年以上職員	年2回
非常勤保育士研修	非常勤保育士	年4回
心肺蘇生、AED救命救急研修 防火・防犯訓練	全職員	年1回
保健衛生研修	全職員	年12回
こどものとも社 オンライン研修	全職員	年間
法人担当別研修会議	全職員	年12回

1. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和5年度（自）令和5年4月1日（至）令和6年3月31日」参照。

2. 評価および反省

① 保育の質の向上を目指して

子どもの最善の利益の追求、個人の尊厳の尊重の理念に基づく保育を行い、また、地域の子育ての基地となるよう全職員それぞれ研鑽に励んだ。個人やクラス単位で行い、研修報告会で学び合った。

また、発達支援児については、巡回指導を通して、発達心理士松鹿先生との年間10回、要支援児会議を行い、特性の理解や対応、援助を学び、実践につなげた。また、保護者との面談を重ね連携して、より一人一人の発達に応じた生活や保育、年長児は、就学に向けた活動となった。支援学級や療育通園に繋がったケースなどより子どもに寄り添えた援助となった。個人研修計画表を元に年2回の面談にてPDCAを行い、職員の評価にもつなげている。自己評価チェック表は、リーダー、副主任、主任と対話しながら行い、関係性を深めた。専門職としての向上を今後も目指していきたい。

② 幼児組 異年齢保育開始へ 「みんな違って みんないい！違いこそが宝だよ」

保護者の協力のもとに、幼児組では異年齢保育を開始した。個性を尊び、発達の違いを子どもも大人も認め合いながら、協同的に暮らす保育となった。自分の興味関心からの遊びの充実、生活習慣の自立へと、子ども同士が主体的に関わり合う様子が見られた。保護者からも「年下の子に思いやりをもって世話する姿に驚いた。」「年長児を真似て、難しいことにも挑戦する姿が見られた。」と感想をいただいた。また、各クラスで朝、夕の話し合いの時間を大切にすることで友達への共感やトラブルへの対処、皆にとってどうしたらいいかを考え、意見を出す姿が見られた。同学年活動も取り入れ、運動会、おおきくなったねの会、カレーパーティーなど子ども達が話し合っ決めて。話し合いで決定したことに主体的に取り組む姿が見られた。また、ランチルームを開始し、自分達で食事の準備、片付けまでを行った。会話を楽しみ、食欲も増した。引き続き生活を楽しむ体験を増やしていきたい。

③ 安全対策の充実

ヒヤリハットからの再発防止、保護者へ送迎時の安全への協力をお願いし、大きな事故、怪我無く過ごせた。防災安全対策リーダーを中心に全ての公園点検を行い、戸外活動の安全性を強化した。また、IP無線を購入し、緊急連絡や公園利用状況の共有を現場から発信でき、戸外活動への安全につながった。避難訓練は、時間帯や条件を変えて行い、危機対応力を高めている。

④ 業務削減、働き方改革について

保育ICTシステムコドモンを活用して、情報共有、日々のドキュメンテーション配信、各種記録の作成を行っている。ICTリーダーが中心となり、リテラシー会議を開き、職員間での話し合いから、気づきを共有して、業務の見直し、削減や効率化へと進めることが出来た。

⑤ 保育者採用・メンター制度について

長期的に安定した運営に向けて、保育者養成校との信頼を築いてきた。区内の養成校2校から新卒採用につながった。また、メンター制度を設け3年目となる。孤立をさせない、何事も語り合う風土を作った。互いに尊重し認め合える信頼関係が築けた。職員の定着を目指していきたい。